

アスパラガス通信 第2号

お便り投稿で交流を!

アスパラひろば



第1号のテーマへのお便りを紹介します!

ペンネームきのこさんから「冬の思い出は?」のテーマでお便りが届きました!

けやき棟西側から、冬の日勤が終わる頃に、太陽が沈むのが見えます。東病棟の廊下まで広がるオレンジ色の絨毯に、いつも癒されています。何人もの患者さんと「キレイだね」とお話したことか……。何気ないいつもの冬の風景に、心が温かくなります。



きのこさん

お話の光景を想像して、ジーンとしました。病院からは、キレイな空を眺められますよね! 私も活動中に展望ラウンジから目にした夕焼けの景色をよく憶えています。今は院内で活動ができていませんが、また見ることが出来る日が待ち遠しいです。

何気ないけれど美しい風景に心動かされる瞬間ってとても素敵ですよ! 私も、よく目にするキレイな夕焼けの風景を思い出しました。

素敵なお話をありがとうございます。そしてさらにこんなメッセージもいただいています!

このコロナ禍の中、無理かとは思いますが、昔のように、病院の患者さんと一緒に作ったり出来るような事ができたらいいなと思っています。

今年度のアスパラガスは、院内でワークショップなどはできませんでした。ですが、この通信を通じて院外からでも、患者さんや病院職員のみなさんとつながれたらいいなと思っています。これからも、みなさんからの便りお待ちしております!

QRコードを読み取って便りをお寄せください!



お便り応募フォーム



きのこさん

アスのタネ

旅気分のおすそわけ

撮影場所: 岩手県 盛岡城跡公園



「不来方のお城の草に寝ころびて 空に吸はれし 十五の心」石川啄木

啄木が学生時代、教室から抜け出し、詠んだ句の舞台である盛岡城跡公園。ある日、私も教室から抜け出してここにきていました。課外活動で、公式的ではありませんが、色鮮やかな紅葉が、深緑色の水面と相まって綺麗でした。仲のいい友達と、サクサク落ち葉を踏み鳴らし、「平日の昼間なのに勉強してない!」という非日常にワクワクしていました。皆さんの思い出の一枚は、どんな場所でしょうか? 写真を見返して、思い出の旅をしてみてください!

アスパラガスとは?

アスパラガスは、筑波大学附属病院内の空間プロデュースやワークショップなどに取り組む、筑波大生によるプロジェクトチームです! 筑波大学芸術系が開設する授業の一環として「病院内の空気をおいしく」をモットーに活動しています。

今なお、新型コロナウイルスの影響から様々な活動が制限され、人と人の繋がりを感じづらい日々が続いています。そこで、アスパラガスのメンバー、患者さん、患者さんのご家族、病院の職員さんが紙面を通じて交流できる「アスパラガス通信」の発行をスタートさせました。

発行日: 2021年3月3日

発行人: アスパラガス 2020
(筑波大学 大学を聞くアート&デザインプロデュース演習)

Special Thanks!
病院のアートを育てる会議

Twitter

@asparagus_tkb

Facebook

@adp.asparagus